

錦上添花

錦ヶ丘中学校
学校便り
3月6日発行 NO.37
文責 出崎 友英

卒業していく君たちへ

明日は卒業式です。

3年生の皆さん、卒業おめでとございます。

3年間をともに過ごし、ともに学び、支え合った友達、多くのことを教え育ててくれた先生方、そして錦ヶ丘中の校舎や教室、運動場といよいよお別れの日です。

それぞれの錦ヶ丘中から巣立ちの時です。

「鳥が選んだ枝、枝が待っていた鳥」

これは陶芸家の河井寛次郎さんの言葉です。

一本の木の枝に鳥がとまっています。

ただ、それだけの風景です。

しかし河井さんはその風景を見た時、何か特別なものを感じられたのでしょ。

たくさんある木の枝の中から、鳥が選んでとまった一本の枝。

鳥が選んだその枝も、その鳥がとまりに来るのを待っていたのだ、ということから、人と人や場所との出逢いの縁について述べたものです。➔



人と人の出逢い、人と学校の出逢い。

それは偶然のようでありながら、どこか起こるべくして起こった必然の縁なのだということを、河井さんは言われています。

河井さんの言葉になぞらえれば、錦ヶ丘中での皆さんと友達や先生達との出逢いも、皆さんが選んでそして多くの人たちが皆さんを待っていた必然の出逢いだったと言えるでしょう。

錦ヶ丘中を巣立っていく287人の皆さん。

3年間、本当によくがんばりました。この錦ヶ丘中でのたくさんの出逢いを通して、皆さんは大きく成長することができました。

卒業は新たなスタートです。

これから皆さんが自分で選び進んでいく新しい場所には、皆さんとの出逢いを楽しみに待っている人たちがいて、皆さんを待っている環境があります。次の場所での出逢いも大切にしてください。そして錦ヶ丘中での3年間のよう、これからもがんばり続ける人でいてください。

人は出逢いによって育てられ、
人生は別れによって深められる。

「リーダー研修会」がありました。

2月28日(金)、「リーダー研修会」がありました。

株式会社 bond の林明成さん、就労支援センターすずらの玉垣和子さんを講師にお招きして、生徒会執行部の皆さんが「地域との連携」をテーマにワークショップを行いました。「錦ヶ丘校区のいいところ」等について、それぞれのグループで意見を出し合い、代表の2つのグループが発表をして意見を共有しました。活発な意見交換ができ、参観された方々も感心されていました。この研修会で感じたことを、これからの生徒会活動に生かしてくれることだと思います。講師の皆様、ありがとうございました。



◆お知らせ・お願いです。

○3月2日(日)に「教職員サッカー大会」が西合志南中グラウンドで開催され、錦ヶ丘中の先生方が出場しました。時折雨の降る天候で、ぬかるんだピッチでの試合となりましたが、皆さん元気に楽しくプレイして、強豪を相手に白熱した好ゲームでした。

結果、2試合とも引き分けでした。選手の皆さんそして応援にかけつけた方々、おつかれさまでした。



○明日は卒業式です。天気予報によりますと、季節はずれの寒さが予想されます。会場の体育館に空調機器はありませんので、式に参加される生徒及び保護者の皆様は、それぞれ防寒対策をお願いします。



必要なことはただ一つ、
自分ができる！と信じることだ。

「先生のコトバ集」より